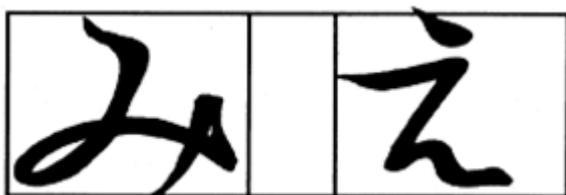


2024年12月1日

一般社団法人 三重県臨床検査技師会

会
報



ニュース NO. 416

編集人 柿本 将秀

発行人 宇城 研悟

発行所 〒514-0001

三重県津市江戸橋 1 丁目 113

K T G レジデンス江戸橋 1-D

一般社団法人三重県臨床検査技師会

TEL・FAX 059-231-1818

mail : info@3ringi.or.jp

会報みえ 12月号 目次

・ 会報みえ 印刷配布終了のご案内	P1	・ 第 47 回三重県医学検査学会の案内	P21
・ 会報みえ 63 年の歴史を振り返る	P2	・ 学術部研修会・勉強会のお知らせ	P23
・ タスク・シフト/シフト厚生労働省指定講習会	P6	・ 技師会連盟	P31
・ 第 38 回市民健康広場	P8	・ 事務局のお知らせ	P32
・ 2024 検査と健康展 in 鈴鹿 レポート	P9	・ 技師募集案内	P33
・ 令和 6 年度第 8 回理事会 議事録	P15	・ 編集後記	P42

「会報みえ」印刷配布終了のご案内

長年にわたり三臨技会員の皆様にお届けしてまいりました「会報みえ」は令和 6 年 12 月号をもちまして紙媒体での配布が終了となります。

令和 7 年 1 月号から「会報みえ」は三臨技ホームページでのオンライン配信となりますので、三臨技ホームページにてご覧いただきますようお願いいたします。

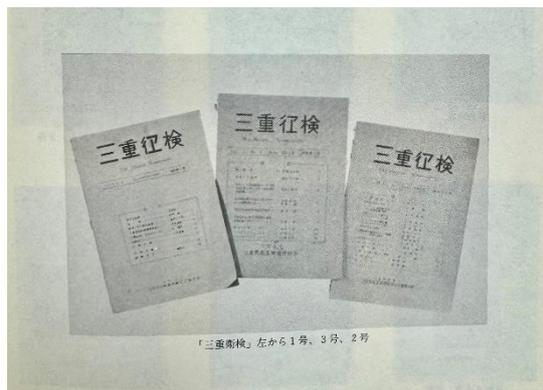
オンライン「会報みえ」は毎月 1 日の発行を予定しておりますが、詳細な発行案内は三臨技 LINE、メール等にて行いますのでよろしくお願い致します。これを機に三臨技 LINE へのご登録もお願いいたします。

(一社) 三重県臨床検査技師会

会報みえ 63年の歴史を振り返る

三重衛検

始まりは、昭和36年12月に発行された「三重衛検」。通巻3号を発行するにとどまったが、ニュース版、会員名簿等を別冊、号外として発行された。当時の予算規模、会員数からすれば、体裁はもちろんの事、内容的にも随分立派なものだったようです。



三重衛検

東海衛生検査

東海3県で発行する「東海衛生検査」に、三重県関係の記事が定期的に載せられるようになった。昭和45年、東海衛生検査技師研究会の発展的解散とともに「東海衛生検査」も廃刊となり、各県独自の会報発行が迫られた。



東海衛生検査

三重衛技報

昭和45年6月に発行された「三重衛技報」、研究班活動を中心に編集されたこの機関紙も昭和47年12月に消滅している。オイルショックが大きな原因の一つと言われている。それから昭和52年の「みえ」まで会報らしいスタイルを持ったものが出てこなかったのは、今にして思えば誠に残念なことである。



三重衛技報

三重衛技報

会報みえ

現在の会報「みえ」は、昭和52年11月に創刊され、その第1号は三重県知事の祝辞を冒頭に掲げた30ページのB5版冊子として発行されました。内容は、多岐にわたり充実しており、発刊当初から会員にとって重要な情報源としての役割を果たしていました。創刊号には、勉強会の経過報告や学術論文、文献抄録、さらには会員名簿が掲載されており、専門的な知識と実務情報を併せ持つ構成が特徴的でした。

こうした創刊号の伝統は、その後の会報「みえ」の編集方針に大きな影響を与え、現在でも会員の学びや交流を支える重要な媒体として進化を続けています。時代の変化に合わせた形式や内容の工夫を重ねながらも、創刊当初の理念を大切に守り続けている点は、「みえ」の長きにわたる発行史を支える原動力となっています。



会報「みえ」1号

昭和50年頃の印刷事情について

昭和50年頃の日本の印刷事情は、伝統的な活版印刷が依然として主流である一方、オフセット印刷の普及や写真製版技術の進化により印刷の効率化と高品質化が進みつつあり、特に雑誌やポスターなどの商業印刷物ではカラー印刷の需要が高まっていましたが、フルカラー印刷はまだ高価で限られた用途に留まっていました。印刷工程では、手作業が多い活版印刷から電子植字機（電算写植）の導入が始まり、文字組み作業が効率化されるなどデジタル技術の萌芽が見られ、また印刷機械やインク、紙の品質向上も進む中で、職人技術に依存した部分が徐々に機械化されていく過渡期でもありました。

平成6年から毎月発行へ変更

No.50-61 平成6年

平成6年から毎月発行とし、技師会活動や勉強会案内、臨床検査技師募集記事など各種情報を発信されるようになりました。

2007年の会報みえ 約17年前

平成19年12月1日



編集人 別所 裕二
発行人 小林 圭二
発行所 三重県津市江戸橋1丁目113
社団法人三重県臨床検査技師会
TEL・FAX 059-231-1818
sanringi-85y_co.est@bz01.plala.or.jp

赤十字のつどい・みえボランティアフェスティバル2007

公益事業部長 別當 勝紀

平成19年10月20日、名張市にある皇學館大学名張学舎で第10回学園祭の期間中に、みえボランティアフェスティバル2007が開催された。同時に毎年、地区を変え行われている赤十字の集いも開催されました。当技師会は例年通り「健康チェックコーナー」を開設し、各機器メーカー協力のもと検査を行いました。

今年も多く多くの学生・市民・ボランティアの方々が参加され盛り上がりを見せました。健康チェックコーナーは校舎の3階に設置したのですが、多くの方々が検査にみえ、あっという間に時間が過ぎて行きました。

今回の検査実施項目・件数は以下の通りです。色々と反省することもあります。また、ご意見を頂戴しながら、来年度に生かしたいと考えました。

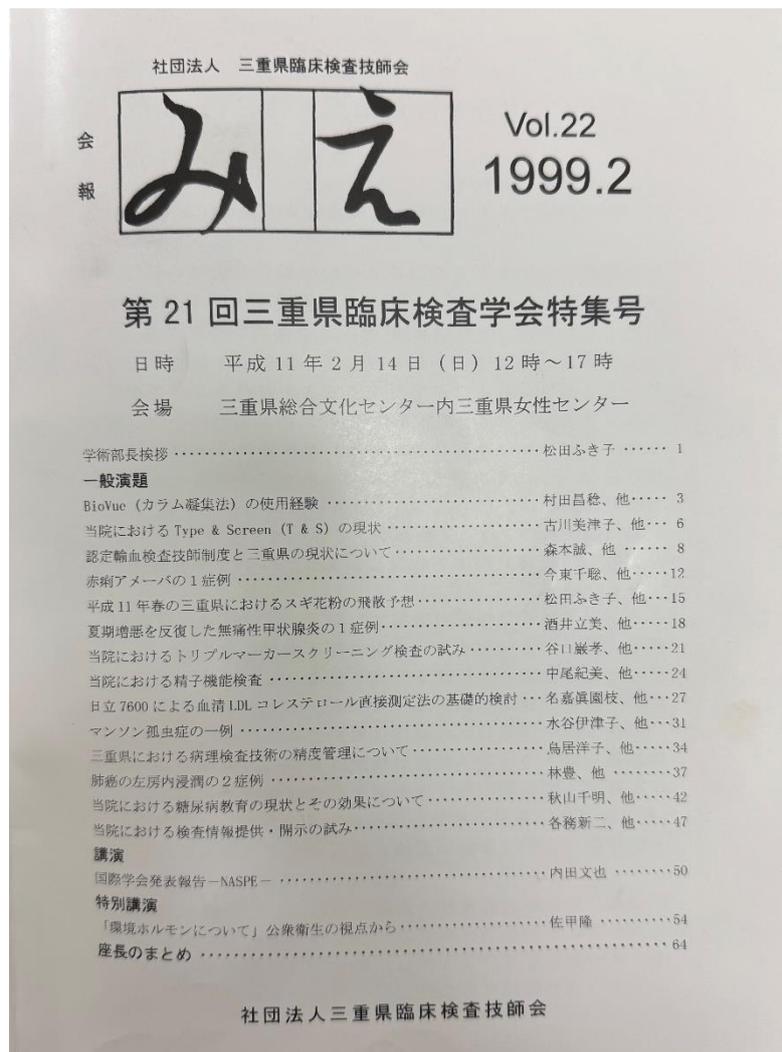
ご協力頂いた当会の皆様、お忙しい中大変ありがとうございました。

みえボランティアフェスティバル2007でのひとコマ



1999年の会報みえ Vol.22

年1回開催される三重県医学検査学会の一般演題を学術論文として掲載する学会特集号を発行してきましたが、会員からの要望が強かった学会誌発行に関して、それまで「会報みえ特集号」として発行してきたものを、平成15年度から三重県臨床検査技師会誌と改名刷新することが理事会で承認されました。



「会報みえ」紙面発行終了に寄せて

約40年にわたり続いてきた「会報みえ」の紙面発行が、今回をもって幕を下ろします。この長い歴史を支え、会報のページに思いを込めてきた先輩方に、心からの感謝を申し上げます。

一枚一枚の紙面に紡がれた言葉と情報は、時代を超えて私たちの絆を深め、次世代へとつながる貴重な記録となりました。これまでの歩みを振り返ると、多くの情熱と思いが込められていたことを改めて感じます。

新しい形で受け継がれるこれからの「会報」も、皆様の思いをしっかりと胸に抱きながら歩んでまいります。これまで本当にありがとうございました。そして、この節目を、また新たな一歩としてともに未来へ向かってまいりましょう。

紙面がなくなっても、絆は消えません。

歴史を刻んでくださった全ての方に、心からの敬意と感謝を捧げます。

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会



1年ぶりのタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会を終えて

政策的研修事業担当理事 小林 千明

先日10月6日、鈴鹿医療科学大学において60名の参加でタスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会を行いました。1年ぶりの開催とあって申し込み締め切り日を待たずすぐに満員となりました。現在、三重県を受講率は全国3位となっています。この結果は会員をはじめ会長、副会長、理事の皆様、また会場をお貸しいただいている鈴鹿医療科学大学の先生方のご尽力の賜物であると思います。今後は基礎講習会の修了人数を見つつ開催を考えていきたいと思っています。今回の講習会を終えた若手会員の2名に参加の感想とタスク・シフト/シェアに対する意気込みを述べていただきました。

タスクシフト/シェアに関する厚労省指定講習会（実技）に参加して

三重中央医療センター臨床検査科

藤野晴日

令和6年10月6日に鈴鹿医療科学大学で開催されたタスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会に参加しました。参加者は60名で3つのコンテンツを各2時間ずつローテーションして受講しました。講習は動画を視聴した後、講師の先生の説明やお手本をもとに模型を使用して実習を行いました。

静脈路確保ではルーチンで採血をしているものの、ルートを生理食塩水で満たしたり、外針を押し込んだりと工程が増えたことで、針を抜く前に駆血帯を解除するという慣れた操作が出来なかったため、何度も練習して一連の手順を身体で覚える必要があると感じました。

吸痰操作では、吸引力カテーテルを挿入する際、長さの目安をつけていても、咽頭までの距離が掴めず、難しく感じました。検査時間が長くなると息苦しさにつながる場合があるため、必要以上に時間をかけないことや患者との間で合図を決めておくことが大切であると学びました。

直腸肛門機能検査では、正しい測定結果を得るためには患者の協力が必要不可欠であり、それには自身が検査の目的を十分に理解し、患者を不安にさせない検査説明と声かけを行い、リラックスして検査を受けてもらうことが重要であると学びました。

今回追加された医療行為はいずれも身体への侵襲性が高く、患者との信頼関係が成立しないと出来ない検査ばかりです。基本的な手技・操作を正しく習得するだけでなく、安心して検査を受けてもらえる患者接遇を身につけることが重要であると感じました。今後、タスクシフト業務を行う際は、これらを踏まえた上で積極的に取り組んでいきたいと思えます。本講習会開催にあたり、尽力いただいた実務委員の皆様、講師の先生方、鈴鹿医療科学大学の先生方に心より感謝申し上げます。

タスクシフト/シェアに関する厚労省指定講習会（実技）に参加して

伊勢赤十字病院 医療技術部臨床検査課

小谷夏鈴

10月6日に開催された「厚生労働大臣指定講習会・タスクシフト/シェア実技講習会」に参加させていただきました。この実技講習は3つのコンテンツに分かれて行いました。

静脈路確保・造影剤注入では模型の腕を用いて行いました。採血とは異なり、腕を曲げた際にルートが曲がらない前腕の血管を第一選択とすることや造影剤注入の際にはすべて造影剤を血管に注入するために生理食塩水の注入時に痛みや腫れ等の有無を確認することが大切だと学びました。

吸引痰検査では、経口・経鼻又は気管カニューレ内部から喀痰吸引を行いました。吸引する位置が分かりづらく、患者さんの痛みを軽減するために10秒以内で吸引することが重要で難しいと感じました。

内視鏡検査では、生検鉗子を用いて消化管から疑似組織を採取しました。患者さんが不安にならないようにどのようなものを挿入するのか見せたり、説明したりすることが重要だと学びました。また、生検鉗子を挿入する人、操作する人などと役割が分かれており、チームでの連携が大切だと感じました。

この講習で学んだことを活かして積極的にタスクシフトに取り組んでいきたいと思えます。

「第 38 回市民健康広場」 骨密度検査に参加して

済生会松阪総合病院 松本梓

令和 6 年 11 月 10 日（日）津地区医師会館にて、津市区医師会主催の「第 38 回市民健康広場」が開催されました。当会からは 11 名のスタッフが参加し、骨密度測定機 2 台を使用して、検査の実施と検査結果説明を行いました。13 時～14 時までの 1 時間の検査時間に 63 名もの方が来場されましたが、大きな混雑はなく、落ち着いて対応できました。他の検査結果から骨密度が心配になって来られた方、10 秒ほどで測定結果が出ることに驚かれていた方、検査説明を熱心に聞かれ、隣接する医師相談コーナーで相談される方など、市民の方々の健康への意識の高さに驚きました。今回参加して市民の方々の健康に対する心に、少しでも寄り添うことができたのではないかと感じ、とても良い経験となりました。今後もこのようなイベントによって、地域の方々の健康への意識がさらに向上する機会になればと感じました。



2024 検査と健康展 in 鈴鹿 レポート

令和6年度（2024年度）全国検査と健康展を開催して

三重県臨床検査技師会 公益事業部長 林 豊

令和6年11月17日（日）に鈴鹿医療科学大学にて全国『検査と健康展』を開催しました。今年度より公益事業部長を務めており、この規模の大きなイベントの運営は初めてとなります。朝は不安な気持ちがありつつも、意気込みと大量の荷物を持って会場に向かいました。空は曇っており天気が心配されましたが、日中は日も照りだし汗ばむ陽気となってくれました。

会場で行う検査は、骨密度測定、血管年齢測定、認知症プログラム、頸動脈エコー、簡易ヘモグロビン測定の5項目で、希望者には検査説明コーナーを設けて詳しく説明する場を設けました。スタッフは三臨技会員36名と、鈴鹿医療科学大学、四日市医療看護大学の学生および教員14名の総勢50名で行いました。大学の学生の方にも学校紹介や顕微鏡を使った体験コーナーを設置し、会場のお手伝いをして頂きました。また昼休みを利用して臨床検査技師に関する講演会を行いました。技師による臨床検査技師のお仕事紹介や健診の重要性、さらに学生による臨床検査技師を目指した自分の将来や希望を講演してもらいました。

参加者は約150名で朝一番は混雑もしましたが、最終的に多くの方にすべての検査を実施することが出来ました。このイベントを通して臨床検査の重要性と、健康に対する意識の向上が得られたと思います。また新しく作成したポロシャツには背中に『わたしたちは臨床検査技師』とプリントされており、臨床検査技師の知名度アップにも貢献できたと思います。



2024年11月17日 鈴鹿医療科学大学で開催

鈴鹿医療科学大学で初めて開催された「検査と健康展」には、150名を超える方々が参加し、大盛況のうちに終了しました。このイベントは、臨床検査技師の仕事を広く知ってもらうことを目的に開催され、参加者にとっては、自身の健康を見つめ直す貴重な機会となりました。

開催前のメッセージで士気を高めました

「検査と健康展」開催に先立ち、林理事と宇城会長よりスタッフへ向けたご挨拶がありました。林理事からは「イベントを楽しむこと」をテーマに、スタッフ自身がポジティブな姿勢で取り組む大切さを強調されました。一方、宇城会長からは「検査と健康展の意義」についてのお話があり、臨床検査技師の役割やこのイベントが地域医療に与える影響を再認識する機会となりました。

この二人の言葉は、スタッフ一人ひとりの心を引き締め、イベント成功への意欲を高める原動力となりました。



林 理事

宇城 会長

新たにポロシャツを作成し、チームの一体感を強化

スタッフのチームワークをさらに強化するために新たにポロシャツが作成されました。このポロシャツは、スタッフ全員が一体感を感じながら協力し合うための象徴となり、イベントの準備段階から着用し、全員の気持ちを一つにまとめました。

スタッフたちは新しいポロシャツを着て、共通の目標に向かって団結し、来場者を温かく迎える準備を整えました。このような工夫が、イベント全体の雰囲気をもっと充実させ、一体感を生み出す原動力となりました。



新たにポロシャツを作成

充実したブース内容

会場には多様な健康チェックのブースが設置され、来場者はさまざまな検査を体験しました。骨密度測定、血管年齢測定、認知症プログラム、頸動脈エコー、簡易ヘモグロビン測定のコーナーが開設されました。これらの検査を通じて、自分の体の状態を具体的に知ることができ、健康意識が高まったという声が多く寄せられました。



楽しそうに参加していただいたスタッフの方々

三重テレビの取材が臨床検査技師の魅力を発信

三重テレビの取材が入り、イベントの様子が地域に広く発信されました。取材を担当したのはアナウンサーの伊佐治好音さん。彼女は取材から撮影、原稿作成、編集、アナウンスまでを一人でこなす多才さを発揮し、その姿は「タスクシフト・タスクシェア」の実践例としても注目されました。

医療界でもタスクシフトやシェアが進められている中、伊佐治さんの柔軟な働き方は、われわれも見習うべきと感じました。三重テレビの取材を通じて、臨床検査技師の重要性やイベントの意義が地域社会に広く伝わり、多くの人々にその魅力を知ってもらうきっかけとなりました。



三重テレビの取材風景

学生たちが活躍！参加者と笑顔で交流した学生ブース

鈴鹿医療科学大学と四日市看護医療大学の学生たちが学生ブースを開設し、来場者と直接交流しました。ブースでは、学生たちが明るい笑顔で親切に対応し、参加者の質問に丁寧に答える姿が印象的でした。

若い世代が積極的に地域の健康増進に関わる姿は、参加者からも「とても親しみやすく、検査や健康について分かりやすく教えてもらえた」と好評を得ていました。学生たちの真摯な取り組みが、イベント全体の温かい雰囲気を作り出していました。



未来は明るい 臨床検査技師の学生さん達

ミニ講演会

「検査と健康展」の一環として行われたミニ講演会では、米田理事の名司会のもと、臨床検査技師の重要性と未来についての貴重な話が展開されました。青木技師は臨床検査技師の仕事について具体的な業務内容と専門性、患者への貢献を紹介し、広瀬理事はがん撲滅に向けた取り組みと、臨床検査技師が果たす役割について説明しました。さらに、鈴鹿医療科学大学と四日市看護医療大学の学生2名が登壇し、現在学んでいる内容や未来の臨床検査技師像について語り、学校紹介も行いました。学生たちは将来のキャリアに対する熱意を語り、参加者に向けて医療の未来について考える機会を提供しました。この講演会は、臨床検査技師の重要性を再認識し、学生たちの情熱と可能性を感じることができた貴重な時間となりました。



青木 技師



広瀬 理事

学生発表

「検査と健康展」に参加して

鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部・臨床検査学専攻 山口 史

三重県臨床検査技師会主催の検査と健康展に参加させていただきました。会場では超音波や血管年齢等の検査が実施されており、多くの方が受診されていました。みなさんの健康に気づかう姿を見て、臨床検査の関心の高さに驚きました。

私も“臨床検査技師を目指して”というテーマで発表させていただきました。発表後には、「良かったよ」と言ってくれる方がたくさんいて温かいお言葉がすごく励みになりました。より一層、理想の臨床検査技師になれるよう努力していきたいと思いました。これから臨地実習や就職、国家試験合格に向けても頑張っていこうと考えています。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



「検査と健康展」に参加して

四日市看護医療大学 高塚 風香

「検査と健康展」に参加して、臨床検査技師という職業について自分も改めて考えることができました。臨床検査技師はあらゆる分野の検査に関わっていますが、一般の方にはそれがあまり知られていないように感じました。そのため、臨床検査技師を知っていただくためには、今回のようなイベントを開催することの他にも、「検査を担当する臨床検査技師です」と名乗ることも効果的であると思いました。また、検査結果も興味を持って詳しく聞いていただくことが多かったですが、病院では「結果は先生からお伝えします」としかお答えできないので、今回のように臨床検査技師から直接検査結果について患者さんにお伝えできる機会が増えたらいいなと思いました。臨床検査技師の方々は、患者さんと対面して検査をすることに慣れており、1人1人の目を見て対応しているのを見て、自分もこのような臨床検査技師になりたいと思いました。



みんな笑顔で集合写真

検査と健康展の集合写真に寄せて
集合写真を見ると、あの日の温かい雰囲気がよみがえり、自然と顔がほころびます。笑顔には不思議な力があります。それは人と人をつなぎ、未来へのエネルギーを与えてくれるもの。私たちが手を取り合い、地域の健康を守るために努力していることがこの写真から伝われば幸いです。



令和6年度第8回理事会 議事録

- 1 開催日時 令和6年11月6日(水) 18:30～20:07
- 2 開催場所 三重県総合文化センター 男女参画棟2階 セミナー室B
- 3 出席者: 理事 宇城 研悟 別所 裕二 広瀬 逸子 海住 博之
西村 はるか 坂下 文康 大川 一正 小林 千明
米田 操 林 豊 宮田 真希 大矢知 崇浩
柿本 将秀 小高 由博 羽根 頼子 中村 和人
小栗 隆志
監事 一色 博 森本 誠

(順不同)

- 4 定款の規定により、会長(代表理事)宇城 研悟が議長に就任し、17名の理事にて定款に定める定足数を満たしており、また、監事2名が出席し計19名出席)、本理事会が有効に成立することが宣言された。その後、直ちに報告、議案の審議に入る。(報告事項、第1号議案～第3号議案)。

会長挨拶:

11月2～3日に名古屋国際会議場で開催された令和6年度日臨技中部圏支部医学検査学会(第63回)において、次回開催のPR活動を行いました。一緒に活動をした別所副会長、広瀬副会長、坂下理事、海住理事、西村理事、林理事、柿本理事はお疲れ様でした。開催まで1年を切り準備は本格的に動き出しました。三重県の会員ならびに賛助会員の皆様には是非ご協力をお願いしたいと思っております。

10月4～6日は横浜で日本医療検査科学会ならびにJACLS EXPO2024が開催され各界から多くの参加者が集まりました。とりわけ災害時やサイバーテロにおける対策、品質・精度保証といった話題に強い関心が集まっていた印象です。

10月6日にはタスクシフト・シェアに対する講習会が開催され60名の方が受講しました。来年度の開催に向けて企画を進めて頂きたいと思っております。

学会、研修会の真っ盛りではありますが、11月10日に開催される第38回市民健康広場、11月17日に開催する検査と健康展におきましては、臨床検査の魅力を伝えるために是非よろしく願いたします。



最後に、研修会をはじめとする会員向けの案内をもう少し幅広くわかりやすい形で模索していきたいと感じております。

事務局報告：

(文書報告)

- ① 日臨技から、8月締め分、三臨技会費送金（1名分）の通知があった。
- ② 日臨技から、臨床検査技師紹介動画について通知があった。
- ③ 日臨技から、みんな知ってる？臨床検査技師のしごと（DVD）の送付があった。
- ④ 日臨技から、日臨技貢献賞（個人）の推薦について通知があった。
- ⑤ 日臨技から、災害支援時に派遣先となる避難所の状況を理解するための学習ツール『避難所運営ゲーム（HUG）』の貸し出しについて通知があった。
- ⑥ 日臨技から、月刊誌Wedge 11月号 抜き刷り印刷冊子（約100冊）の送付があった。
- ⑦ 三重県医療保健部から、三重県衛生検査精度管理専門委員の委嘱について（別所副会長、大川理事）通知があった。
- ⑧ 三重県医療保健部から、令和6年度第1回三重県感染対策支援ネットワーク研修会の事業終了報告、事業実施結果についての通知があった。
- ⑨ 三重県医療保健部から、令和7年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦について通知があった。
- ⑩ 長野県臨床検査技師会から、会誌（Vol13.No3）の送付があった。
- ⑪ 広島県臨床検査技師会から、会報（Vol53.No.2）の送付があった。
- ⑫ 栃木県臨床検査技師会から、会報（No.550）の送付があった。
- ⑬ 大阪府臨床検査技師会から、年賀状廃止案内の送付があった。
- ⑭ アイエルジャパン株式会社から、吸収合併に対する債権者異議申述催告書の送付があった。
- ⑮ 鈴鹿市健康福祉部から、全国「検査と健康展」の後援承認決定の通知があった。
- ⑯ 三重県医師会から、三重県医師会会員名簿（令和6年7月版）の送付があった。
- ⑰ 三重県医師会から、全国「検査と健康展」の後援名義使用承認の通知があった。
- ⑱ 三重県医師会から、年賀状廃止の案内について送付があった。
- ⑲ 四日市保健所から、四日市衛生検査精度管理専門委員の委嘱について（別所副会長、大川理事）通知があった。
- ⑳ 三重県公衆衛生協会から、第75回三重県公衆衛生学会のご案内について通知があった。
- ㉑ 三重県看護協会から、看護みえの送付があった。
- ㉒ 日本衛生検査所協会から、ラボ10月号の送付があった。
- ㉓ 三重県保険医協会から、三重県保険医新聞（第594号）の送付があった。
- ㉔ 三重県健康管理事業センターから、令和6年度「学術助成（がん研究・がん患者支援活動）」の募集について、通知があった。
- ㉕ 松阪地区医師会から、年賀状廃止の案内送付があった。
- ㉖ 三医会 三重医学研究振興会から、寄付金へのお礼状の送付があった。
- ㉗ 黒住医学研究振興財団から、2025年度第44回「福見秀雄賞」、2025年度第60回「小島三郎記念技術省」の推薦について通知があった。
- ㉘ 日本糖尿病療養指導士認定機構から日本糖尿病療養指導士の認定更新に関するお願いの通知があった。
- ㉙ 日本臨床一般検査学会から、第15回日本臨床一般検査学会、第21回スキルアップ講習会 終了のご報告の通知があった。

(庶務・事務局報告)

- ① 第19回末病臨床検査セミナー（主催：日本末病学会 臨床検査部会）の後援依頼があり、会長、副会長決裁で承認致されました（別紙案内参照）。
- ② 第2回ICMAセミナー（般社団法人主催国際規格臨床検査室マネージメント協会主催）の案内があった。（別紙案内参照）。

各業務執行理事報告

1) 各部理事報告

（会計部）

- ① 今年度新たに、株式会社キアゲンと株式会社HN Cが賛助会員となりました。

（学術部）

- ① 第46回三重県医学検査学会奨励賞の投票については、準備が整い次第連絡させていただきます。
- ② 第47回三重県医学検査学会の一般演題11題、学生発表3題の合計14演題となりました。ご協力ありがとうございました。

（精度管理事業部）

- ① 11月14日（木）第2回三重県臨床検査精度管理協議会開催予定。
- ② 12月22日（日）三重県臨床検査精度管理調査報告会開催予定。

（公益事業部）

- ① 全国検査と健康展（案）について

日時：令和6年11月17日（日） 10:00～15:00

場所：鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス

内容：無料検査（骨密度測定2台、血管年齢測定2台、頸動脈エコー【予約】2台、認知症検査2台）

臨床検査に関する講演会（青年部会、学生など）

女性部会による子宮がん予防啓発コーナー、臨床検査学校紹介コーナー、体験コーナー（高校生以下）、青年部会によるコーナー

※医師による相談コーナーは中止

要員：検査および説明要員 24名

総務、講演、女性部会 7名

青年部会 4名

学生（鈴鹿4名、四日市5名）+ 教員3名

講演：臨床検査技師の認知度アップ

臨床検査技師のお仕事（青年部会）、子宮がん検診（女性部会）

臨床検査技師を目指した理由、今後の夢と希望（学生）

広報：チラシ作成・新聞折り込み 約10000枚（11月1日前後）

広報鈴鹿に案内掲載

- ② 津地区医師会主催『第38回市民健康広場』

日時：令和6年11月10日（日） 13:00～16:00

※検査は13:00～14:00

場所：津地区医師会館

内容：無料検査（骨密度測定2台）

要員：総務 1名

検査および説明要員 10名

③ 三重県医師会主催『第19回みんなの健康講座』

日時：令和7年3月2日(日) 11:00～15:00

※検査は11:00～13:00

場所：三重県医師会館

内容：無料検査（骨密度測定、心電図、血圧測定）

心電計は三重県健康管理事業センターにお願いする予定

*尿検査は感染性廃棄物などの問題から中止する。

代わりにヘモグロビン濃度と酸素飽和度測定に変更する。

要員：総務 2名

検査および説明要員 22名

(編集広報部)

- ① 会報11月号発行。
- ② ホームページ更新。
会報みえ、学術勉強会案内、求人情報、行事案内
- ③ ラインによるホームページ更新、新着情報の周知を行った。
- ④ エックスサーバー契約 ビジネスプラン
- ⑤ 新三重県臨床検査技師会ホームページ進行状況報告

(組織調査部)

- ① 令和7年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦について（締切：令和6年12月2日）
令和6年10月16日（水）第3回叙勲推薦資料作成ワーキングを開催した。
推薦調書を確認中、締切日までに提出する。
- ② 女性部会について
令和6年11月5日（火）にZoomミーティングを開催した。
- ③ 日臨技地域貢献賞受賞候補者の推薦について（締切：令和6年11月15日）
推薦書を作成中。
- ④ 日臨技貢献賞（個人）の推薦について（締切：令和6年11月22日）
日臨技へ推薦書を提出した。

(次世代企画事業)

- ① 三重県医学検査学会 ランチョンセミナー（テーマ：AI）についての続報
- ② 三重県医学検査学会 青年部会企画について

(教育学会事業)

- ① 11月17日（日曜日）検査と健康展のチラシを鈴鹿市役所、鈴鹿医療科学大学案内板に掲示しました。
- ② 12月1日（日曜日）新人研修会開催案内を会報みえに記載いたしました。
理事の先生方もぜひ参加してください。

(政策的研修事業)

- ① 10月6日（日）にタスクシフト研修会を無事終了しました（参加者60名）
- ② 1/9にニューリーダー研修会をZoomで開催予定です。

(4) 2) 地区理事報告及び提案事項

(北勢地区)

- ① 三重県公衆衛生学会のご案内 配信

② 中部圏支部に向けた講習会参加呼びかけ文書 配信

(津地区)

① 三重県医師会主催第19回みんなの健康講座(令和7年3月2日開催)のスタッフ募集案内 配信

② 中部圏支部に向けた講習会(第3回生物化学分析部門研修会)参加呼びかけ文書 配信

③ 次世代企画事業青年部会における津地区でのスタッフ募集案内 配信

(松阪・紀州地区)

① 中部圏支部に向けた講習会(静岡県臨床衛生検査技師会生物化学分析部門)参加呼びかけ文書 配信

(伊勢・志摩地区)

① 三重県公衆衛生学会のご案内

② 配信中部圏支部に向けた講習会参加呼びかけ文書 配信

(伊賀・名張地区)

① 第47回三重県医学検査学会の演題受付延長について 配信

② 全国検査と健康展要員募集について 配信

③ 第75回三重県公衆衛生学会のご案内について 配信

④ 静岡県臨床衛生検査技師会令和6年度第3回生物化学分析部門研修会について 配信

⑤ 第二回ICMAセミナーのご案内について 配信

⑥ 第19回末病臨床検査セミナーについて 配信

3) その他周知事項

① JAMTISメールにて、三臨技事務所[アドレスが info@3ringi.or.jp](mailto:info@3ringi.or.jp) に変更となった事を会員にお知らせする。

② 来年1月号から会報みえをJAMTISメールで会員送信する。

議題

(事務局)

第1号議案 年賀状による年始のご挨拶を全面廃止の方向で考えたい。

*本年より、各都道府県技師会へのご挨拶は廃止済み。

(全会一致で承認)

2号議案 令和7年度(第63回)日臨技中部圏支部医学検査学会 進捗について

日時 : 2025年11月1日(土) ~ 11月2日(日)

会場 : 三重県総合文化センター

学会テーマ : 「最前線 ~ One step forward ~」

○ 学会準備委員会メンバー

宇城 研悟、別所 裕二、広瀬 逸子、坂下 文康、西村 はるか、海住 博之、林 豊、柿本 将秀

○ 今後の動き

11月14日(木) 15:00 ~、賛助企業様への協賛説明会を予定

(全会一致で承認)

(学術部)

第3号議案 臨床微生物部門より、認定技師、2級検査士の養成講座を再開したいとの要望がありました。会報みえ12月号で案内をしたい。

(全会一致で承認)

- 5 議長は、午後8時7分、以上をもって議案の全部の審議及び報告事項を終了したことを宣言した。以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事、監事がこれに押印した。

令和6年11月6日

第 47 回三重県医学検査学会

令和 7 年 1 月 19 日開催

会場：「三重県総合文化センター 多目的ホール」

(津市一身田上津部田 1234)

ご案内

今年度の三重県医学検査学会の現地開催のみを予定しています。

三重県医学検査学会は若手が壇上で発表する経験ができる貴重な学会です。

会員の皆様、多数ご参加下さいますようお願い致します。

発表者、参加者ともに、日臨技ホームページより事前参加登録をお願いします。
申し込み締め切り：1月16日（木）まで

*発表形式：口演発表 6 分、質疑応答 2 分、

PC 持ち込み不可、PowerPoint (Windows) 使用、動画使用可 (当日動作確認必要)

*日臨技生涯教育履修点数 専門 20 点

< プログラム 概要 >

- | | |
|-----------------------|---|
| 9 : 3 0 ~ | 受 付 |
| 9 : 5 0 ~ 9 : 5 5 | 開会の辞 会長挨拶 |
| 9 : 5 5 ~ 1 2 : 0 5 | 一般演題 11 題、学生発表 3 題 |
| 1 2 : 0 5 ~ 1 2 : 1 5 | 三重県臨床検査技師会 学術奨励賞表彰式 |
| 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 5 | ランチョンセミナー (先着 100 名)
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
株式会社 HNC |
| 1 3 : 5 0 ~ 1 4 : 2 0 | 女性部会企画 |
| 1 4 : 2 0 ~ 1 5 : 1 0 | 青年部会企画 |
| 1 5 : 2 5 ~ 1 6 : 2 5 | 学術部企画 「腎臓について考えよう」 |
| 1 6 : 2 5 ~ 1 6 : 3 0 | 閉会の辞 |

< 学会内容一覧 >

I, 一般演題 9:55~12:05

1. 適正な汚染率を目指した抗酸菌培養検査の処理方法の検討 済生会松阪総合病院 水野 愛海
2. 皮下膿瘍から *Mycobacterium marinum* を検出した 1 例 三重大学医学部附属病院 三田村 侑香
3. 当院病理室における新たな化学物質管理の取組み 松阪市民病院 山田 健太
4. ROSE における迅速染色の比較・検討 桑名市総合医療センター 宇田 紗矢香
5. 当院における免疫組織化学染色用未染色標本保存方法に関する検討 伊勢赤十字病院 村田 浩太郎
6. 当院での腎生検における蛍光抗体法の検討 済生会松阪総合病院 角谷 茉里恵
7. 寒冷刺激が契機と考えられた末梢神経障害の 1 例 済生会松阪総合病院 白塚 彩華
8. 超音波検査が有用であった後腹膜領域に発生した悪性リンパ腫の 1 例 済生会松阪総合病院 増田 柚紀
9. 非先天性心疾患患者の小児感染性心内膜症炎 (IE) の一症例 桑名市総合医療センター 杉谷 春美
10. 悪性リンパ腫治療中にアデノウイルス性出血性膀胱炎が出現した 1 例 三重大学医学部附属病院 深谷 仁
11. HbA1c の結果における HbF の影響について 桑名市総合医療センター 中野 沙紀

II, 学生発表

1. 超音波脂肪肝診断における ATI の有用性について 鈴鹿医療科学大学大学院 近藤 紘史
2. 変形性膝関節症患者の関節液における好中球エラストラーゼの測定とその意義 鈴鹿医療科学大学大学院 秋山 留璃
3. 変形性膝関節症 (OA) の関節液検査の有用性について 鈴鹿医療科学大学大学院 前田 響

III, 学術奨励賞表彰式 12:05~12:15

IV, 賛助会員からの情報提供 12:30~13:35 ランチオンセミナー

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
株式会社 HNC

V, 女性部会企画 13:50~14:20

VI, 青年部会企画 14:20~15:10

VII, 学術部企画 15:25~16:25

三臨技 学術部 研修会・勉強会のお知らせ

三臨技主催の研修会、勉強会の参加費（実技講習会を除く）

Web開催：日臨技会員無料、日臨技非会員 2000 円、学生：無料

現地開催：三臨技会員無料、日臨技会員 500 円、日臨技非会員 2000 円

- ※ 新型コロナウイルス感染の状況によっては変更することがありますので、ご了承ください。
- ※ WEB 参加の場合、ZOOM を利用します。ご利用のデバイスやインターネットの通信状態により、視聴不能や不完全な場合でも責任は負いません。
- ※ 受講は申込者本人に限定します。参加 URL を他者と共有や公開することは禁止します。
- ※ 講義内容の録画・録音等は、著作権の問題上、禁止します。
- ※ ZOOM 参加時は、氏名、会員番号、施設名に名前を変更してください。

第 2 回 生物化学分析部門勉強会

【日 時】令和 6 年 12 月 5 日（木）18：30～20：00

【場 所】三重県総合文化センター 生涯学習棟 4F 小研修室 1

【内 容】

日々の業務で使用されているマイクロピペットについて、ピペットの仕組みや精度に影響を与える要因、正しいピペッティング・メンテナンス方法の講演を実習形式にて行います。

【講 師】

1. 「マイクロピペットの正しい使い方」

三重県立志摩病院 大前 真一 技師

【参加申し込み】日臨技 HP の会員専用サイトより申し込んでください。

【申し込み開始】令和 6 年 11 月 13 日（水）

【申し込み〆切】令和 6 年 12 月 4 日（水）まで

【問い合わせ先】市立四日市病院 古森 由規（059-354-1111）

mail : kensasitu@yokkaichihp01.jp

第 5 回 臨床生理部門 超音波分野勉強会

【日 時】令和 6 年 12 月 26 日（木）18：30～19：30（今回は 1 時間です）

【場 所】オンライン開催（ZOOM 使用）県外参加可

【内 容】超音波検査 症例検討会

思っていた病変と違っていた症例や先輩に相談したくなる症例、レポート記載に悩んだ症例など日常の業務で困ったことはありませんか？今回は、悩んだ症例などを若手技師に症例提示していただきディスカッションできればと考えています。

【講 師】

1. 症例検討「大動脈二尖弁に合併した感染性心内膜炎の症例」

済生会松阪総合病院 北川 拓実 技師

2. 症例検討「下壁心筋梗塞に心室瘤を合併した1例」

伊勢田中病院 中北 圭哉 技師

3. 症例検討「症例検討 黄色肉芽腫性胆嚢炎」

武内病院 野田 多玖也 技師

【参加申し込み】日臨技 HP の会員専用サイトより申し込んでください。

参加人数 100 名 早めにお申し込みください。

【申し込み開始】令和 6 年 12 月 11 日 (水)

【申し込み〆切】令和 6 年 12 月 24 日 (火)

【問い合わせ先】済生会松阪総合病院 中川 真理子 (0598-51-2626 内線 261)

mail : nakagawa_sanrin@ymail.ne.jp

臨床検査総合部門・政策的研修部門の合同勉強会

【日 時】令和 7 年 1 月 9 日 (木) 18 : 30~20 : 00

【場 所】オンライン開催 (ZOOM 使用)

【内 容】

臨床検査総合部門：臨床検査の品質向上に必要な品質保証施設認証制度と精度管理について理解を深めましょう！！

政策的研修部門：次世代の人材育成を目的として令和 6 年度三臨技リーダー育成研修会を行います。

両部門とも興味深い内容となっていますので是非多数の参加をお待ちしています。

なお、**生涯履修は基礎点 (20点) となります。**

【講 師】

1 部：検査室の品質はまず精度管理から

1. 「日臨技品質保証施設認証制度と取得に向けて」

菰野厚生病院 別所 裕二 技師

2. 「臨床化学・免疫化学検査における精度管理について」

四日市看護医療大学 森本 誠 技師

2 部：今年もやります！令和 6 年度三臨技リーダー育成研修会

1. 「次世代に期待すること！」

鈴鹿回生病院 広瀬 逸子 技師

2. 「君たちはどう生きるか！」

済生会松阪総合病院 林 豊 技師

【参加申し込み】日臨技 HP の会員専用サイトより申し込んでください。

【申し込み開始】令和 6 年 12 月 11 日 (水)

【申し込み〆切】令和 7 年 1 月 6 日 (月)

【問い合わせ先】伊勢赤十字病院 小林 千明 0596-28-2171 (PHS 7358)

mail : c-kobayashi@ise.jrc.or.jp

鈴鹿医療科学大学 棚橋伸行 059-383-8991(内2211)

mail : tanahasi@suzuka-u.ac.jp

第5回 臨床生理部門 神経生理分野勉強会

【日 時】令和7年1月15日(水) 18:30~20:00

【場 所】オンライン開催 (ZOOM 使用)

【内 容】神経生理検査の基礎

今回は電極位置 Part2 ということで、下肢の神経について
神経伝導検査における電極位置を確認しましょう！

【講 師】

1. 神経伝導検査の電極位置 part2 ~脛骨神経、腓骨神経、腓腹神経~
桑名市総合医療センター 山中 優香 技師

2. 症例提示

【参加申し込み】日臨技 HP の会員専用サイトより申し込んでください。

【申し込み開始】令和6年12月18日(水)

【申し込み〆切】令和7年1月10日(金)

【その他】日頃の症例提示や疑問・質問等も募集しています。

下記の問い合わせ先までお願いいたします。

【問い合わせ先】松阪市民病院 中島 佳那子 (0598-23-1515)

令和6年度 臨床血液部門研修会

【日 時】令和7年1月26日(日) 10:00~15:00

【場 所】鈴鹿医療科学大学 形態検査実習室 県外参加可

【内 容】

顕微鏡の使用方法、ギムザ染色について染色原理などの再確認、午後からは実際に標本を観察して検討や意見交換をしましょう。昨年行った染色標準化にむけて皆さんで顕微鏡を見ながら検討しましょう。

1. 顕微鏡の使い方 -実技講習- 10:00~11:00

2. 染色について 11:15~12:15

3. 染色状態の確認、形態、末梢・骨髄標本の観察 13:00~15:00

***各施設標本を持参してください(施設名を記入) 意見交換してみましよう**

~標本の取扱には十分気をつけてください~

血液像・骨髄像をレクチャーします。これから学ぶ方、わからないことや日頃困っていることがある方、観察しながら学びましょう！！

***標本を持参できる方はお持ちください**

【参加申し込み】日臨技 HP の会員専用サイトより申し込んでください。

【申し込み開始】令和6年12月23日(月)

【申し込み〆切】 令和7年1月22日（水）

【定 員】 40名 先着順とさせていただきます。 昼食は各自ご準備してください。

【問い合わせ先】 鈴鹿回生病院 広瀬 逸子（059-375-1312）

第6回 臨床生理部門 超音波分野勉強会

【日 時】 令和7年1月29日（水） 18:30~20:00

【場 所】 オンライン開催（ZOOM 使用） 県外参加可

【内 容】 4月から先輩になる方へ、先輩ゾラするために覚えておこう

まだまだ初心者だと思っけていても、後輩ができてしまうと先輩になり、後輩に教えることが出てきて不安になるかもしれません。そんな不安を解消できるよう、いまさら聞けない様な基本的な内容を中心にクイズ形式（アンケート）で一緒に復習していきたいと思ひます。

ベテランの方には物足りないと思ひますが、初心者の方に向けた内容を考へて思ひます。

※当日はグーグルフォームを利用したアンケートを行いますので、QRコードを読み取れる環境にて参加をお願いいたします。

【講 師】

1. 心臓領域

三重ハートセンター 中津 脩平 技師

2. 腹部領域

三重大学医学部附属病院 宮田 真希 技師

3. 乳腺領域

済生会松阪総合病院 中川 真理子 技師

【参加申し込み】 日臨技 HP の会員専用サイトより申し込んでください。

参加人数 100名 早めにお申し込みください。

【申し込み開始】 令和6年12月11日（水）

【申し込み〆切】 令和7年1月27日（月）

【問い合わせ先】 済生会松阪総合病院 中川 真理子（0598-51-2626 内線261）

mail : nakagawa_sanrin@ymail.ne.jp

臨床微生物部門 資格取得グループ学習会の募集

【日 時】 2級検査士対象：令和7年3月~6月

認定技師対象：令和7年3月~9月

月2回程度開催 時間 19:00~21:00

【場 所】 ZOOM でのオンライン勉強会（初回のみ現地開催、日時・場所は後日ご連絡致します。）

【対 象】

認定臨床微生物検査技師および2級臨床検査士（微生物検査）試験の受験を考へている方（現段階で受験申込をしていない方でも可能です）たくさんの方にお申し込みいただいた場合は令和7年度、令和8年度に受験される方を優先させていただきますのでご了承ください。

【内 容】

認定微生物検査技師、2級検査士取得に向けたグループ学習会

認定臨床微生物検査技師および2級臨床検査士（微生物検査）受験予定の皆さま、グループ学習会に参加しませんか？資格を取得したいが何から勉強すればいいかわからない方、グループ学習会では過去5年間のノウハウを生かした勉強法があり、合格者も多数輩出しています。資格の合格目指して一緒に勉強しましょう。

【募集人員】10名

【申し込み方法・問い合わせ先】

三重大学医学部附属病院 検査部 細菌検査室 永田恵一

mail : k21t16a17@yahoo.co.jp

TEL : 059-232-1111（代表） 極力 mail でお願い致します。

上記へグループ学習会参加の旨、所属、お名前、会員番号、連絡先（メールアドレス）をご連絡ください。お申込み後、グループ学習会の詳細をメールにてご案内させていただきます。

受験に合格された参加者は来年度のグループ学習会のサポートをお願いしています。ご了承の上お申込みください。

【申し込み〆切】令和7年1月31日（金）まで

令和6年度 日臨技中部圏支部研修会 「輸血研修会」開催案内

主催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部

実務担当技師会：三重県臨床検査技師会

【テーマ】 「輸血担当技師のためのモチベーション向上の秘訣」

【日時】 令和7年2月1日(土) 13:00～ 2日(日) 13:00

【場所】 Humanitec Plaza ユマニテックプラザ 3階研修室300

三重県四日市市鶴の森1-4-28

【定員】 60名

【受講料】 日臨技会員 8,000円

日臨技非会員 10,000円

【日程】

«1日目» 2月1日(土)

12:30 受付

13:00 開講式／オリエンテーション

総合司会：三重中央医療センター 羽根頼子

13:10 講演1『輸血検査のためのマニュアルVer.1.4～ポイント紹介～』

講師：輸血学会

13:40 講演2『症例検討～報告に至るまで～』

講師：輸血学会

14:20 休憩

14:35 講演3『血液製剤の製造から検査まで～依頼検査検体の歩み～』

講師：日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター技術課 製剤二係長

加藤静帆 先生

15:05 講演4『輸血担当技師の新たな業務～検査のほかにもできること～』

講師：東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科 輸血室 田代優也 先生

15:45 休憩

16:00 講演5『多職種がつなぐ CAR-T療法～チーム医療の実践～』

講師：名古屋市立大学病院 診療技術部 臨床検査技術科 輸血緊急検査室主査

南里隆憲 先生

16:40 講演6『多職種とのコミュニケーションの取り方』

講師：松阪市民病院医療技術部 副部長/三重県臨床検査技師会 会長

宇城研悟 先生

17:20 連絡事項

17:30 1日目終了

18:30 ～意見交換会(希望者のみ)～(予定)

«2日目» 2月2日(日)

9:30 受付

総合司会：三重中央医療センター 羽根頼子

9:45 グループワークオリエンテーション

講師：藤田医科大学病院 輸血部 副部長 松浦 秀哲 先生

10:00 グループワーク『モチベUPを目指して～日頃のお悩み、相談しよに!～』

少人数のグループで日頃のお悩み、他の施設ではどうしているだろう?などを意見交換に重点を置き、解決のヒントを得る会を目指します。

12:00 まとめ・総評

12:30 閉講式・修了証書授与

13:00 終了

【申込み方法】 日臨技会員 日臨技 HP 内 JAMT 会員専用ページからの事前参加登録

日臨技非会員 下記研修会事務局にメールで連絡

会員専用ページでの登録が困難な場合は、下記研修会事務局にメールで連絡をお願いします。

【申込み期間】 2024年11月1日～12月27日

【受講料のお振込み】 日臨技会員 事前参加申込時にクレジットカード決済

日臨技非会員 下記研修会事務局へお問い合わせください。

【参加方法】 今回の研修は、現地開催のみとなります。直接会場までお越しください。

【宿泊】 参加者各自で手配をお願いします。

【意見交換会(任意)】 参加費5,000円(予定) ※当日集金いたします。

【会場へのアクセス】 近鉄四日市駅(南改札西口)より徒歩3分

HP登録、受講料振込み確認後、開催1週間前を目途にメールで資料等の詳細連絡いたします。

研修会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5

独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター 臨床検査科

羽根 頼子

Tel : 059-259-1211 FAX : 059-256-7590

Email : hane.yoriko.zc@mail.hosp.go.jp

令和 6 年度 日臨技中部圏支部研修会

「第 37 回 臨床生理研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部

【テーマ】 「エコー冬期講座 ～エコーとあえてエコー以外の評価を学ぶ～」

【概要】 近年の画像診断は、目まぐるしく進歩しています。それはエコー検査も 마찬가지です。しかし、それでも検査には長所と短所がありそういった点を認識することは正しい診断に結びつけるために非常に重要です。本研修会ではそういった視点を成長させるためにエコー検査の評価法、そしてあえてエコー以外の評価法についてプロフェッショナルの方々より講演してもらい更なる検査の向上を目指します。

【日時】 令和 7 年 1 月 25 日 (土) 13:00～ 26 日 (日) 9:00～

【形式】 現地開催

【場所】 富山大学附属病院 臨床講義室 1

【定員】 150 名

【受講料】 5,000 円 (日臨技会員) 8,000 円 (日臨技非会員)

今年度からクレジット決済となります

【日程】

《1 日目 1 月 25 日》

12:00～12:50 受付

12:50～13:00 開講式

講演 1

13:00～14:00 「肝細胞癌における超音波検査の評価」

講師 静岡県立静岡がんセンター 生理検査室 野下 昂平 先生

座長 岐阜医療科学大学 渡邊 恒夫 先生

講演 2

14:10～15:10 「肝細胞癌に対する病理の評価法とその見方」

講師 富山大学附属病院 病理部 池田 和人 先生

座長 島田市立総合医療センター 榊原 康平 先生

講演 3

15:20～16:20 「心筋症と心エコー図検査～いろんな症例から知識をアップデート」

講師 市立敦賀病院 医療技術部 検査室 河野 裕樹 先生

座長 三重ハートセンター 松林 正人 先生

講演 4

16:30～17:30 「MRI による Cardiac の評価方法」

講師 中村病院 放射線技術部 佐々木 基充 先生

座長 刈谷豊田総合病院 西脇 啓太 先生

《2 日目》

講演 5

09:00～10:00 「狭窄症を頸動脈・経頭蓋エコーで診る」
講師 富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 中川 夏輝 先生
座長 富士脳障害研究所附属病院 杉山 聡 先生

講演 6

10:10～11:10 「脳梗塞の身体所見とその意義について」
講師 富山大学附属病院 脳神経内科 温井 孝昌 先生
座長 金沢大学附属病院 中出 祐介 先生

講演 7

11:20～12:20 「生理機能検査を担当する技師が知っておくべき検査データの見方
Labo data から見るケーススタディ～」
講師 北陸大学 医療保健学 医療技術学科 滝野 豊 先生
座長 富山大学附属病院 中川 夏輝 先生

12:20～12:30 閉講式

【生涯教育】 専門 30 点

【申込期間】 令和 6 年 12 月 1 日～令和 7 年 1 月 10 日

【申込方法】

日臨技ホームページの会員専用ページからログインして事前参加登録・決済を行ってください。

【受講料振込】

受講料は事前参加申込時にクレジットカード決済となります。

クレジットカード決済は日臨技会員のみ対応のため、非会員はクレジットカード決済ができませんので、
研修会事務局にお問い合わせください。

また、クレジットカードでの支払いが難しい方も研修会事務局へお問い合わせください。

【研修会事務局・問い合わせ先】

〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630

国立大学法人 富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 中川夏輝

Tel : 076-434-2281 (内線 7740)

E-mail : nakagana@med.u-toyama.ac.jp

技師連盟関連情報

<文書報告>

- ① ずすぎ英敬後援会連合会から、ご推薦のお願いの送付があった。
- ② 自由民主党三重県支部連合会から、田村憲久 氏、川崎秀人 氏、石原正敬 氏、鈴木英敬 氏へのご推薦のお願い、の送付があった。
- ③ 石原まさたか事務所から、個人・街頭演説会ご参加（動員）のお願いの送付があった。

<周知事項等>

- ① 第62回中部圏支部医学検査学会で、連盟ブースを設けてのPR活動が実施されました。スタンプラリーの成果もあり、多くの方に立ち寄っていただきました。これから、来年度中部圏支部学会での企画を考えていきますので、皆様ご協力よろしくお願ひ致します。

令和6年11月6日

【事務局だより】 11月20日現在

日臨技会員数（三重県） 795人
三臨技会員数 800人（11/20 現在）

会員消息

転入

747230 長谷川 弓子 市立四日市病院

勤務先変更

240369 井上 みほ 鈴鹿中央総合病院 → いなべ総合病院

転出

254609 山本 倫子 → 石川県

三重県臨床検査技師会リンク

<https://lin.ee/mLMImXL>



ぜひ、ご登録をよろしくお願ひいたします

技師募集案内

施設名：榊原温泉病院
職種：臨床検査技師
募集：1名（パートタイム）
応募書類：履歴書（写真添付）、
その他条件：勤務時間、業務内容等はお問い合わせください
問い合わせ先：〒514-1293 津市榊原町 1033 番地の4
（書類提出先） 榊原温泉病院
【担当者】事務局 東畑 【TEL】 059-252-1111

施設名：若葉病院
職種：臨床検査技師
募集：1名（正規職員）
業務内容：待機あり、詳しい内容はお問合せください
応募書類：履歴書（写真添付）、職務経歴書、資格免許証の写し
問い合わせ先：〒514-0832 津市南中央 28-13
（書類提出先） 若葉病院
【担当者】中内 【TEL】 059-227-0207

施設名：厚生連 鈴鹿中央総合病院
職種：臨床検査技師
募集：2名（パートタイム）
応募書類：履歴書、臨床検査技師免許の写し
業務内容：健診業務
その他条件：勤務時間 8:00～16:30
勤務形態・業務内容の詳細はお問い合わせください
問い合わせ先：〒513-8630 鈴鹿市安塚町山之花 1275-53
厚生連 鈴鹿中央総合病院 健診センター「オリーブ」
（書類提出先） 厚生連 鈴鹿中央総合病院
【担当者】山崎 【TEL】 059-384-1017

施設名：岩崎病院
職種：臨床検査技師
募集：1名
応募書類：履歴書（写真添付）、資格免許証写し
業務内容：生理検査、検体検査、全般
その他条件：待機あり、勤務日数、勤務時間はお問い合わせください
問い合わせ先：〒514-0114 津市一身田町 333 番地
（書類提出先） 岩崎病院
【担当者】 事務長 服部 【TEL】 059-232-2216

施設名：武内病院
職種：臨床検査技師
募集：2名（正職員・パート職員）
応募書類：履歴書（写真添付）、資格免許証の写し
業務内容：生理検査・検体検査、全般
その他条件：詳細は当院ホームページをご覧ください。
問い合わせ先：〒514-0057 津市一色 215 番地 1
（書類提出先） 武内病院 検査部
【担当者】 森 【TEL】 059-226-1111

施設名：国民健康保険志摩市民病院
職種：臨床検査技師
募集：1名（臨時職員フルタイムまたはパートタイム／産休・育休代替）
応募書類：選考申込書（当院ホームページで規定のもの）、技術免許の写し
業務内容：検体検査・生理検査、全般
その他条件：勤務形態・業務内容等はお問い合わせください。
問い合わせ先：〒517-0603 志摩市大王町波切 1941-1
（書類提出先） 国民健康保険志摩市民病院
【担当者】 渡邊 【TEL】 0599-72-5555

施設名：独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター
職種：臨床検査技師
募集：1名（非常勤職員）
業務内容：検体検査全般
応募書類：履歴書（写真添付）、臨床検査技師免許（写）
その他条件：詳細はホームページをご覧ください
問い合わせ先：〒514-1101 津市久居明神町 2158 番地 5
（書類提出先） 独立行政法人国立病院機構 三重中央医療センター 管理課
【担当者】管理課 庶務係長 中野 【TEL】 059-259-1211

施設名：一般財団法人 近畿健康管理センター 三重事業部
職種：臨床検査技師
募集：3名（パートタイマー）
応募書類：履歴書（写真添付）、臨床検査技師免許証（写）
※書類提出前に、まずはお電話ください。時給・勤務時間・業務内容等をご相談させていただきます。
業務内容：健康診断業務（心電図・採血・超音波検査等。心電図のみでもOK）
その他条件：未経験、ブランクのある方、病院が苦手な方歓迎。時間をかけ丁寧に指導します。企業への移動時間も時給が発生します。健診現場は三重県全域。現地集合・解散も可能。まずはお気軽にご連絡下さい。
問い合わせ先：〒514-0131 津市あかつ台 4 丁目 1 番地 3
（書類提出先） 一般財団法人 近畿健康管理センター 三重事業部
保健技術グループ 第4技術チーム

施設名：町立南伊勢病院
職種：臨床検査技師
募集：1名（正規職員）
業務内容：検体検査・生理検査、全般
応募書類：履歴書（写真添付）、資格免許の写し
その他条件：待機あり、詳しい内容はお問合せください
問い合わせ先：〒516-0109 度会郡南伊勢町船越 2545

施設名 : 三重大学医学部附属病院
職種 : 検査部 臨床検査技師
募集 : 1名(有期雇用職員・パートタイムまたはフルタイム/産休・育休代替)
業務内容 : 本院超音波センターにおける検査業務
その他条件 : パートタイムの場合勤務時間応相談
詳細はホームページをご覧ください
応募書類 : 自筆履歴書(写真添付)、臨床検査技師免許証の写し等
詳細はホームページをご覧ください
問い合わせ先 : 〒514-8507 津市江戸橋 2-174
(書類提出先) 三重大学病院医学・病院管理部総務課人事係
【e-mail】 s-jinji@mo.medic.mie-u.ac.jp
【担当者】 吉岡 【TEL】 059-231-5046 (直通)

施設名 : 三重大学医学部附属病院
職種 : 病理部 臨床検査技師(有期雇用職員・フルタイムまたはパートタイム/産休・育休代替)
募集 : 若干名
業務内容 : 病理検査
応募書類 : 当院ホームページで既定のもの
その他条件 : 詳細はホームページ参照。勤務時間(応相談)・業務内容等は病理部藤田までお問い合わせください。
問い合わせ先 : 〒514-8507 津市江戸橋 2-174
(書類提出先) 三重大学病院医学・病院管理部総務課人事係
【担当者】 吉岡 【TEL】 059-231-5046 (直通)

施設名 : 津生協病院
職種 : 臨床検査技師
募集 : 2名(正職員・パート職員)
応募書類 : 履歴書(写真添付)、資格免許証の写し
その他条件 : 勤務時間・業務内容はお問い合わせください
問い合わせ先 : 〒514-0015 津市寿町 16-24
(書類提出先) 津生協病院 総務課
【担当者】 平尾 【TEL】 059-225-7170

施設名 : 玉城町国民健康保険 玉城病院
職種 : 臨床検査技師
募集 : 1名(嘱託職員)
応募書類 : 履歴書(写真添付)、資格免許証の写し
その他条件 : 勤務時間・業務内容はお問い合わせください
心エコー検査の出来る方、もしくは入職後に心エコー検査を学んでいく意欲のある方、優遇いたします
問い合わせ先 : 〒519-0414 度会郡玉城町佐田 881
(書類提出先) 玉城町国民健康保険 玉城病院 管理事務所
【担当者】竹郷【TEL】0596-58-3039

施設名 : 公益社団法人 地域医療振興協会 三重県立志摩病院
職種 : 臨床検査技師
募集 : 1名(正規職員)
応募書類 : 履歴書(写真添付)・臨床検査技師の免許証(写)
その他条件 : 勤務時間・詳しい業務内容はお問い合わせください
問い合わせ先 : 〒517-0595 志摩市阿児町鶴方 1257 番地
(書類提出先) 公益社団法人 三重県立志摩病院
【担当者】事務部 中井【TEL】0599-43-0501

施設名 : 亀山市立医療センター
職種 : 臨床検査技師
募集 : 1名(正規職員)
応募書類 : 指定の試験申込書、指定の履歴書、身上書(当院ホームページよりダウンロード可)、最終学校の卒業(見込)証明書(写しでも可)、免許状の写し(取得見込みの場合を除く)
その他条件 : 勤務時間・業務内容はお問い合わせください
問い合わせ先 : 〒519-0163 亀山市亀田町 466 番地 1
(書類提出先) 亀山市立医療センター 地域医療部病院総務課
【TEL】0595-83-0990

施設名 : 倉本健康管理システム (健診センター)
職種 : 臨床検査技師
募集 : 2名 (正職員・パート職員)
業務内容 : 各種健診業務
応募書類 : 履歴書 (写真添付)
その他条件 : 勤務時間・業務内容はお問い合わせください
問い合わせ先 : 〒514-0805 津市下弁財町津興 3040 番地 (倉本病院)
(書類提出先) 医療法人倉本病院
【担当者】恒川【TEL】059-227-6712

施設名 : 社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが
職種 : 臨床検査技師
募集 : 1名 (正職員)
応募書類 : 履歴書 (写真添付)
その他条件 : 勤務時間・業務内容はお問い合わせください
問い合わせ先 : 〒510-8575 四日市市日永 5039
(書類提出先) 社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが
【担当者】総務課 奥村【TEL】059-345-2357

施設名 : MG糖尿病・内分泌・甲状腺クリニック
職種 : 臨床検査技師
募集 : 2名 (正規職員、パートタイム)、
応募書類 : 履歴書 (写真添付)・技師免許の写し
その他条件 : 生化学自動分析装置の操作を中心とした業務です
問い合わせ先 : 〒515-0035 伊勢市勢田町 431
(書類提出先) MG糖尿病・内分泌・甲状腺クリニック
【TEL】0596-21-1112 【e-mail】info@mgclinic.jp
【担当者】後藤 (院長)

施設名 : 伊勢赤十字病院
職種 : 臨床検査技師
募集 : 2名(臨時職員)
応募書類 : 履歴書(当院ホームページで規定のもの)、卒業証明書、
成績証明書、免許状の写し
その他条件 : 勤務時間・応募方法等は当院ホームページをご覧ください。
問い合わせ先 : 〒516-8512 伊勢市船江1丁目471番2
(書類提出先) 伊勢赤十字病院
【担当者】人事課 山本 【TEL】0596-65-6776

施設名 : 医療法人 森川病院
職種 : 臨床検査技師
募集 : 2名(正職員)
応募書類 : 履歴書(写真貼付)
その他条件 : 勤務時間・業務内容等はお問い合わせください。
問い合わせ先 : 〒518-0854 伊賀市上野忍町2516-7
(書類提出先) 医療法人 森川病院
【担当者】波多 【TEL】0595-21-2425

施設名 : 医療法人 ひなが胃腸内科・乳腺外科
職種 : 臨床検査技師
募集 : 1名(パートタイム)
応募書類 : 履歴書(写真添付)
業務内容 : 超音波検査(腹部・乳腺/甲状腺・可能であれば心臓)
その他条件 : 勤務時間・詳しい内容等はお問い合わせ下さい
問い合わせ先 : 〒510-0828 四日市市日永1丁目13番26号
(書類提出先) ひなが胃腸内科・乳腺外科
【担当者】久野 泰 【TEL】059-349-1811

施設名 : 株式会社 TNR 病理センター
職種 : 臨床検査技師
募集 : 2名 (パートタイム)
応募書類 : 履歴書 (写真貼付)
その他条件 : 勤務時間・業務内容等はお問い合わせください。
問い合わせ先 : 〒518-0017 伊賀市大谷 946-5
(書類提出先) 株式会社 TNR 病理センター
【担当者】 検査部 水上 利嗣 【TEL】 0595-24-4679

施設名 : 医療法人 桜木記念病院
職種 : 臨床検査技師
募集 : 1名 (正職員)
応募書類 : 履歴書 (写真貼付)
その他条件 : 業務内容・勤務時間等はお問い合わせください。
問い合わせ先 : 〒515-0034 三重県松阪市南町 443-4
(書類提出先) 医療法人 桜木記念病院
【担当者】 事務所 今井 由紀 【TEL】 0598-21-5522

三臨技事務局からのお知らせ

退会、施設の異動、施設連絡責任者の変更、転入、転出による技師会の変更、転居による住所変更など、現在のデータに変更がある場合、日臨技の「会員専用ページ」にて変更、もしくは三臨技事務所までご連絡下さい。送付先が不明な場合、会報等の送付物が届かなくなります。また、求人内容の変更・掲載取下げ等がある場合も事務所までご連絡ください。

今年度末で退会を希望される方へ

退会手続きを1月31日までにを行った場合は、2月27日に来年度の会費の引き落としは行われません。2月1日以降に退会手続きを行った場合は、2月27日に来年度の会費が引き落とされますので、3月31日までに退会手続きと返金手続きを行って下さい。(3月31日までに退会手続きが済んでいない場合は、返金できません)

令和元年の日臨技定時総会で日臨技加入条件に「都道府県技師会の加入が条件」として可決されたため、都道府県技師会を退会し日臨技のみ継続することができなくなりました。(三臨技のみの継続は出来ます)

日臨技・三臨技共に退会される場合は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」にて日臨技と三臨技の両方を同時に退会処理して下さい。日臨技だけの退会処理では、三臨技を同時退会した事にはなりませんのでご注意ください。ご不明な点がございましたら、三臨技事務所までお問い合わせください。

編集後記



親子で楽しむブラジリアン柔術：私の始まりと今

ブラジリアン柔術（BJJ）は、世界中で人気が高まっており、アメリカのセレブや日本の著名人も夢中になっています。たとえば、Facebook 創業者のマーク・ザッカーバーグは柔術の大会に出場するほどの熱中ぶりを見せています。また、日本では俳優の岡田准一さんが柔術に取り組み、その身体能力や武道の精神性を高めていることでも知られています。

きっかけは子供との時間

最初は、子供が道場で楽しそうに柔術を学ぶ姿を見守るだけでした。しかし、インストラクターから「親子で一緒にどうですか？」と声をかけられ、軽い気持ちで始めることにしました。子供の相手をしてあげたいという想いから始めたのですが、気づけば私自身が柔術にのめり込んでいました。

セレブや著名人も愛する柔術の魅力

マーク・ザッカーバーグが柔術を愛する理由は、競技としての楽しさと、集中力や自己鍛錬が得られる点だといいます。また、岡田准一さんのように、身体を鍛えつつ精神性を高める手段として柔術を取り入れる人も多いです。柔術は単なるスポーツではなく、心身を磨くライフスタイルの一部となっているのです。私も、道場での練習は日常のストレスをリセットし、前向きな気持ちを取り戻せる貴重な時間になっています。

親子で楽しむ価値

私たち親子は、柔術を通じて深い絆を築くことができました。試合での緊張感や、練習での失敗を乗り越えるたびに、互いの成長を感じられるのが何よりも嬉しいです。

柔術を始めていなければ得られなかったこの経験を、多くの人に知ってもらいたいと思います。もし興味があれば、ぜひ道場の門を叩いてみてください。マーク・ザッカーバーグや岡田准一さんが愛する柔術の魅力、きっとあなたも実感できるはず！

編集広報部長 柿本 将秀